

研究課題名：咽喉頭観察におけるペチジンの有用性に関する検討

1. 研究の対象

2019年11月～2021年10月に当院でペチジン注射を使用し、上部消化管内視鏡検査を受けた方

2. 研究目的・方法

ペチジン塩酸塩は咽頭反射抑制に寄与し、患者の負担を軽減しつつ咽頭観察の質を向上させるとの報告がある。当院にて、咽喉頭観察におけるペチジンの有用性について検討を行った。内視鏡検査終了後に医師および看護師より問診を行い、咽喉頭観察時の苦痛度を5段階(5:非常に楽、4:楽、3:普通、2:苦痛、1:非常に苦痛)で評価した。また内視鏡画像を評価し、中下咽頭後壁・左右梨状陥凹・声門喉頭が十分観察できているか内視鏡観察の良好度を5段階(5:非常に良好、4:良好、3:普通、2:不良、1:非常に不良)で評価した。

3. 研究期間

(倫理審査委員会承認日) ～ 2026年 2月 10日

4. 研究に用いる試料・情報の項目

情報:性別、年齢、病歴、副作用等の発生状況、内視鏡検査の苦痛度、内視鏡画像 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：

宮城県立がんセンター 消化器内科 岩井渉